

# 令和7年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	令和7年9月17日（水） 福岡第2合同庁舎2階 共用第2・3会議室		
委員	牧角 龍憲（大学名誉教授）	松藤 泰典（大学名誉教授）	
	諏佐 マリ（大学准教授）	柴田 祐二（公認会計士）	
	本岡 大祐（弁護士）		

## I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年6月30日			
審議対象件数	47件			
1. 入札状況について（入札参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について）				
抽出件数	3件	（審議概要） 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 談合疑義案件情報について 4 低入札価格調査情報について 5 抽出事案について		
建設工事	一般競争 （基準額以上）			0件
	一般競争 （基準額未満）			2件
	随意契約			0件
建設コンサルタント業務等	1件			
	意見・質問	回 答		
○ 委員からの意見・質問	<b>【建設工事等発注実績について】</b> 特に意見なし			
○ それに対する回答等	<b>【指名停止の措置状況について】</b> 特に意見なし			
	<b>【談合疑義案件情報について】</b> 該当案件なし			
	<b>【低入札価格調査情報について】</b> 特に意見なし			

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委員からの意見・質問</li> <li>○ それに対する回答等</li> </ul>	<p><b>【抽出事案について】</b></p> <p><b>1 [芦屋（7）着陸拘束装置整備等土木工事]（一般競争入札（基準額未満））</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合評価落札方式としているが、どのようにして評価を行ったのか。</li> <li>・ 落札者の評価点が大きくなっているが、どのような内容が高く評価されたのか。</li> <li>・ 入札参加者に対し、具体的に評価点が何点なのか事前に公表しているのか。</li> </ul> <p><b>2 [新田原飛行場周辺地区（7）除草管理工事（1工区）]（一般競争入札（基準額未満））</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再公告となった経緯を説明していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本案件はコンクリート2次製品の設置が主な工事内容であり、技術的工夫の余地が小さいと判断したため、主に過去の工事成績等を評価する施工能力評価型の総合評価落札方式とした。</li> <li>・ 企業の工事实績については最大3件分の工事成績を提出可能としているが、提出されたもの全てが高い工事成績であったため、10点満点中10点となっている。また、他社と比較すると優秀工事顕彰の実績や難工事の実績があるため、これらの点が評価されている。 また、配置予定技術者の経験についても同様に、提出されたもの全てが高い工事成績であったため、10点満点中10点となっており、更に優秀工事技術者顕彰等の実績があるため、これらの点が評価されている。</li> <li>・ 事前公表はしないものの、入札公告時に評価基準を公表しているため、自己採点は可能である。</li> <li>・ 地元自治体からの要望により、資格要件として本店等の所在地を宮崎県内に設定したうえで入札公告を行ったところ、本工事のみ参加者がなかったため入札不成立となり、再公告を行ったものである。 例年入札に参加している業者に</li> </ul>

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委員からの意見・質問</li> <li>○ それに対する回答等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年同じ業者が落札しているため参加を見送ったとのことであるが、入札参加を見送った理由について説明していただきたい。</li> <li>・ 地元企業の定義について、宮崎県内に営業所等が所在することとしているが、例として「実施場所から半径〇km以内」という表現にした方が分かりやすいのではないかと考えられる。</li> </ul> <p>3 [令和7年度日出生台演習場周辺移転措置測量調査（B工区）] （一般競争入札（基準額未満））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落札率が極端に低くなっているが、この金額で履行が可能なのか。</li> <li>・ 全ての入札参加者の入札率を確認すると、いずれの参加者も低い入札率となっているが、予定価格</li> </ul>	<p>対し参加しなかった理由を聞き取ったところ、毎年同じ業者が落札しているため参加を見送ったとのことであった。</p> <p>再公告の結果、前年度落札した業者とは異なる業者が落札した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年落札している業者からの聞き取りによると、当該工区は毎年地元住民からの要望や苦情等が多く寄せられていたことが参加を見送った理由であった。 次年度以降は工区設定の見直しを含め、より多くの業者に入札参加していただけるように見直しを検討していきたい。</li> <li>・ 今後検討していきたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該業者の積算内容を確認した結果、重大な見落としによる積算不足は見受けられず、当該工事に必要な経費が計上されていることを確認している。 なお、過去の入札実績を調べた結果、今回の案件と同程度の落札率の低入札となっているが、いずれの業者も問題なく履行できているため、履行可能であると判断している。</li> <li>・ 予定価格については、防衛省が定めている「施設測量業務積算要領」に基づき積算しているため、</li> </ul>

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委員からの意見・質問</li> <li>○ それに対する回答等</li> </ul>	<p>及び入札金額の妥当性について説明していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積算要領の見直しなど、何らかの措置が必要であると考えられる。今後も、本省や他局との情報交換など、検討を続けていただきたい。</li> </ul>	<p>妥当であると考えている。</p> <p>全ての入札参加者の積算内容を確認すると人件費の項目に乖離が大きくなっているが、人件費については地域格差が大きく、また、用地測量を発注する当初は測量業界の閑散期であるため、各業者とも受注意欲が高く、結果として低価格での入札となっているのではと推測される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご指摘の積算要領の見直しについては、ご意見があったことを本省に報告することとし、執行にあたっては、他局と情報を交換するなどし、適切な執行に努めてまいりたい。</li> </ul>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要)  なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	
○ 委員からの意見・質問		なし	
○ それに対する回答等			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	
3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審議概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約件数と落札率、応札率の分析</li> <li>・契約件数と一位不動・順位不動の分析</li> <li>・低入札、不調、不成立事案の分析</li> </ul>	
		意見・質問	回答
○ 委員からの意見・質問		なし	
○ それに対する回答等			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	